



R.I. 第2620地区 静岡第1グループ  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第2220号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹  
TEL(055)975-3210

会長 千葉 慎二 幹事 三田 明宏



広重版画より 三島 朝霧

## 第2290回例会

2020.10.8雨

司会 栗原達治君

ロータリーソング 「我等の生業」  
指揮 柴崎恵子君

会長挨拶 会長 千葉慎二君

こんな猛暑がいったいつまで続くのかとうんざりするほど暑かった夏も、先月のお彼岸の頃から流石に秋らしくなり、今日などは日中の最高気温の予報が20℃に達せず、11月下旬の陽気だと言います。急な寒暖の差に身体も対応に苦慮します。どうかご自愛下さい。

また台風14号が接近、上陸する恐れも出てきました。この地域には土曜日から日曜の未明に最も接近するとの予報です。今後の進路予報などをチェックして、必要なら対策を怠らないようご留意下さい。

今日は台風の発生と上陸に関して、気象庁の統計から少しご紹介いたします。数字は1951年(昭和26年)からの70年間のものです。

『発生』について言えば、最も少ないのが2月で18件、次いで1月と3月が27件。最も多いのは8月の389件、次いで9月の346件、7月の268件、10月はこの14号を入れて256件です。驚いたことに、1月から12月まで、70年間で一件も発生しなかった月はありませんでした。また台風の多い7月、8月、9月、10月は、逆にこれまで70年間台風が発生しなかった年がなかったところ、なんと今年の7月は1件も発生がなく、ニュースになったのは記憶に新しいところです。年間の発生件数で言うと、最少が2010年(平成22年)の14件、最多が1967年(昭和42年)の39件、平均では25.6件となっています。今年は10月上旬で14件、最少にはならないものの、平均を大きく下回る年になりそうです。

『上陸(北海道・本州・四国・九州のみ)』に関して言えば、12月から3月の4ヶ月間は過去に上陸の記録がありません。4月と11月が1件、5月が2件。上陸は圧倒的に7月(34件)、8月(73件)、9月(67件)の3ヶ月に集中しています。ちなみに10月は8件でこの3ヶ月に比べると格段に少ない方です。年間の平均上陸数は2.7件。最多上陸数は2004年(平成16年)の10件、上陸が1件もなかった年が過去4回ありました。(近いところでは2008年。)今年はいこれまでのところ、島嶼部を除き北海道・本州・四国・九州へ

の上陸はなく、14号も運よく上陸しないで済めば、5回目の上陸ゼロの年になる可能性もあります。

台風の強さを上陸直前の中心気圧で見ると、最も低かったのが1961年(昭和36年)の第二室戸台風の925hPa、次いで1959年(昭和34年)の伊勢湾台風ですが、統計開始前の記録として、1934年(昭和9年)の室戸台風の911.6hPa、1945年(昭和20年)の枕崎台風の916.1hPaがあります。とてつもない強さですね。因みに、1958年(昭和33年)の狩野川台風は上陸時には960hPaでしたが、海上にある時に877hPaという途轍もない低気圧を記録しており、これは1973年(昭和48年)の台風15号の875hPaに破られるまで最低気圧の記録だったそうです。

台風の被害がありませんように祈念して終わります。

### 出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	43/48	89.58%	43/48	89.58%
今回	38/47	80.85%	会員総数	51名

欠席者 秋元君、芦川君、木村君、窪田君、橋本君、花房君、藤江君、古屋君、和田君

幹事報告 幹事 三田明宏君

- 10月行事
  - ②2日(木) 例会場・例会時間・内容変更 呉竹 12:30例会  
卓話 桃瀬 弘明君
  2. 11月行事予定
    - ①5日(木) 呉竹 臨時総会 卓話 宇江喜 敦司君
    - ②12日(木) 呉竹 夜間例会  
卓話 ロータリー財団委員長(フォーラム)  
外部卓話 三島ロータリークラブ幹事 高木 基氏
    - ③26日(木) 呉竹 卓話 栗原 達治君
3. 報告事項
  - ①11月12日(木) 夜間例会 柴崎 恵子君の卓話を変更して外部卓話となります。三島RC幹事であり、第2620地区のロータリー財団補助金小委員会委員でもある高木氏となります。

2020~2021年度  
国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーク

ロータリーは、機会の扉を開く

## おめでとう

会員誕生日	桃瀬君
入会記念日	関本(照)君、矢野君、鈴木(郁)君
奥様誕生日	諏訪部(照)君、西本君
結婚記念日	佐野君、鈴木(正)君

## スマイルボックス

- ◆ 栗原君、千葉会長をはじめ、皆様には、母の葬儀にご多忙中にもかかわらず、暖かいお言葉をおかけいただき、また、過分なお供物を賜り、誠にありがとうございました。
- ◆ 伊丹君、新型コロナウイルス感染症の影響をもちかぶっています・・・が、ここ最近少し良くなってきたのかな・・・と感じたばかりなのに、台風14号接近でまたキャンセルが続いています。やせる思いです。呉竹様の料理をばらいっぱいいただきます。

## 卓話

### ロワール紀行

桐部都宏君

今から約三十年前の話をさせていただきます  
当時、バブルの真っただ中です、地方銀行各行は、1992年の欧州統合、EU創設をにらんで欧州での活動拠点設立を進めておりました、私の出身母体であるスルガ銀行も同様です。設置場所は、ベルギー王国のブリュッセルが選ばれました、ベルギーにおいては銀行免許の取得により、あわせて証券業務も可能になるという利点もあったからです。そして、ベルギーに銀行と証券を生業とする現地法人を設立するに当たって、とりあえずフランス語を話せるスタッフが必要、ということになったようです。そうしているうちに、ある日突然、役員に呼ばれました、「君、フランス語を勉強してみないか？」突然で何が何だかよく理解できませんでしたが、有無を言わせないという雰囲気だったことを記憶しています、思わず「一生懸命がんばってみます、よろしく願います」と勢いで返事をしてしまいました。

それから少して辞令が出ました「2年間フランスに行ってフランス語を勉強してきなさい、ただし、いきなりでは可哀そうだから、国内の語学学校で1年間勉強してからにきなさい」というものでした。それから、銀行にもまったく行かずに、東京の語学学校でのフランス語漬けの生活が始まりました。国内での1年間は瞬間に過ぎ、いよいよフランス行きです、場所は学校の紹介で、中西部のトゥールに決まりました、銀行からの指示は「日本人の少ない所に

すること、アパート住まいは不可、フランスの家庭にホームステイのこと、半年間トゥールというところの語学学校で勉強したのち、南仏、エクサンプロバンスの大学に外国人向けのビジネスコースがあるから、そこに行きなさい」ということだけでした。

いよいよフランスでの生活です、パリのモンパルナス駅からホームステイ先のマダムに電話した時の心細かったことが思い出されます。最初のうちは、家族と離れて寂しい毎日でしたが、せっかく与えていただいた機会なんだから語学以外にも何か・・・やる気をふり絞ったのが城めぐりという訳です。トゥールは、フランスの中西部に位置する都市で、パリからTGV(新幹線)で約1時間20分の、人口とか規模でみると沼津市とか富士市ぐらいの地方都市ですが、かつて王宮(首都)がパリからしばらくの間移されていたことや、大学や語学学校に在籍する外国人が多いことなどから、洗練された、住みやすい街とされています、規模以上に都会だと感じました。街の中をロワール河というフランス最長(信濃川の約3倍、セヌ河の約2倍の長さ)の大河が流れており、その中流域のロワール渓谷と呼ばれる地域には、約200kmにわたって140もの古城が点在しています。古城めぐりは公共交通機関ではちょっと無理ですので、ドイツ人の同宿人、ベルナー君にガソリン代と引き換えに、車と運転手をお願いしました、おかげで主だったお城は何度もまわることができました

また、このロワール渓谷はボルドー、ブルゴーニュに次ぐフランス第3のワインの生産地です、時間はたっぷりありましたので、酒も飲まないのにワインの勉強も一生懸命しました。通算約5年のヨーロッパ滞在の間に、ボルドーには何度か行きました、シャトーの見学も何度となく、酒も飲めないのに・・・

銀行員としては、なかなかできない経験をしているうちに6カ月はあっという間に過ぎ、いよいよ南仏、プロヴァンスか、コートダジュールか、という時期になりました。ところが、またも突然・・・、本部から「ベルギーの銀行免許が思ったよりも早くおりにことになったので、とても南仏になぞ行っている余裕はないぞ、ベルギーへ早く来い！」という連絡がありました。ただし、その前に「欧州での証券業務の経験などないだろうから、ロンドンの証券会社に行って少し勉強してから来なさい」という指示があわせてありました、南仏のプロヴァンスでの2年間で、どんよりとしたロンドンの6カ月に代わってしまったという訳です。結果として、わずか6カ月という短いトゥール(フランス)滞在中だったので、やり残したことはたくさんありますが、ひとつだけといわれると、フランス北西部、ドーバー海峡に面したシェルブルールに行けなかったことです、あのカリーヌ・ドヌーブの『シェルブルールの雨傘』のです。その後のベルギー赴任、約4年の間に、近くまでは何回も訪れていたのですが、ついに行くことがありませんでした。

欧州統合、EU創設を挟んで、フランス、イギリス、ベルギーでの約5年間、この続きは機会がありましたら、また、その時に・・・

なお、ベルギー滞在の間は家族も一緒でしたよ、ご心配なく。

ご清聴ありがとうございました。

(週報担当:森藤 賢)